

発行/広島県印刷工業組合 発行人/中本 俊之  
広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954  
URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : [h.inkumi@estate.ocn.ne.jp](mailto:h.inkumi@estate.ocn.ne.jp)



**夢メッセ 10月18・19日  
いよいよ開催!**

広島県最低賃金のお知らせ

[メディア・ユニバーサルコンペティション]募集

役員紹介 副理事長 宮崎 真

// 田尾 直也

常任理事 瀬尾 淳

理事 児玉裕太郎

// 上重 十郎

福山支部だより

事務局だより ●組合の動き

## 「秋の果物 ナツメ (棗)」

南ヨーロッパ原産・中国北部の原産ともいわれている

子どもの頃には、そこらへんに生っている実をおやつ代わりに食べたものだが、もう何十年も食べたことはない。組合のご近所でこのナツメを発見、実が大きく立派なものでビックリ。

リンゴに似た味で美味しい。5、6月頃に黄色の花が咲き、黄緑色の実をつけ、熟すにつれて写真の色ようになり、それから水分が抜けてしわっぽくなる。日本での歴史は古く、「万葉集」にも登場しているとあります。

ナツメの消費は、ほとんどが中国と韓国で、中国ではどこの市場でも販売されているとのこと。食べると美容と健康に良く、漢方では欠かせない材料として重宝されているようです。名が知られている風邪薬の「葛根湯」、この材料にも入っているようです。

写真のナツメ、是非、食べてみたいものです。

## 【広島県最低賃金】

## 広島県、初の千円台 ～「守ろう! 最低賃金! 使用者も、労働者も」～

広島地方最低賃金審議会が 令和6年10月1日(火)から **時間額1,020円** (旧 970円) に改正するよう広島労働局長に答申した。アップ額は4年連続で、最大の50円引き上げになる。

広島県最低賃金は、県内の事業所で働く全て(パート、アルバイトの方、学生さんも)の労働者に適用されます。なお、年齢、性別、雇用形態、支払い形態の別を問いません。

雇用主が、労働者に対し、最低賃金未満の賃金しか支払っていない場合、雇用主は、その差額を支払わなくてはなりません。このとき、雇用主は、地域別最低賃金額以上の賃金額を支払わない場合には、50万円以下の罰金(法40条)、特定(産業別)最低賃金額以上の賃金額を支払わない場合には、30万円以下の罰金に処せられます(労働基準法120条、24条)。この他、最低賃金の周知義務(法8条)に反した場合、雇用主は、30万円以下の罰金に処せられます(法41条1号)。

注. 最低賃金に参入しない賃金  
・精皆手当、通勤手当、家族手当  
・時間外、休日及び深夜の割増賃金  
・臨時に支払われる賃金及び1か月を超える期間ごとに支払われる賃金

## 【第18回 メディア・ユニバーサルコンペティション】募集

## MUD活動に参加・チャレンジしよう!

全日本印刷工業組合連合会では「すべての人にやさしく、誰もが快適に利用できること」を目的としてデザインや文字など、より多くの人に伝わる情報を提供する「メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)活動」に取り組んでいます。この取り組みをより強固なものとするために、今年も「第18回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催し、高齢者・障がい者や子ども、外国人になどに対して見やすさ・伝わりやすさに配慮したアイデアに富んだ作品を募集します。

隣県では、以前から取り組んでおられ優秀な成績を取られています。当工組からも以前には表彰を受けられた会社もあり、このMUDを世間に広げアピールするために、ぜひチャレンジされることを願っています。

## 応募要領

応募期間：2024年9月2日(月)～12月6日(金)  
(当日消印有効)

出品料：作品1点につき、一般3,300円、学生無料  
2024年12月6日までに振込願います。

募集作品(例)：●カレンダー ●地図 ●パンフレット ●サイン  
●パッケージ ●チラシ ●ポスター ●その他など

応募資格：一般の部／プロ・アマ問わず、どなたでもOK。  
学生の部／大学・短期大学・専門学校・高等学校に在籍している学生・生徒

応募対象作品：2023年7月以降に制作されたもの。

■お問い合わせ先

〒104-0041

東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館4F

全日本印刷工業組合連合会

TEL. 03-3552-4571

FAX. 03-3552-7727

「第16回メディア・ユニバーサルデザイン  
コンペティション」係

※詳しくは、9月号の「Si」(旧 日本の印刷)にパンフレットを同封して送っています。

**Horizon**  
Change the focus

「理屈」で考えるワークフロー、  
ポストプレスにフォーカスしてみませんか

ホリゾン・ジャパン株式会社

www.horizon.co.jp

SCREEN

インクジェットの可能性を広げる、  
新・枚葉デジタル印刷機



A3対応 枚葉フルカラーインクジェット印刷機

Truepress JET S320

株式会社 SCREEN GP ジャパン [www.screen.co.jp/ga](http://www.screen.co.jp/ga)

中国営業所/082(264)6451

〒732-0824 広島県広島市南区的場町一丁目2-21 広島第一生命OSビル



## 【新役員紹介】

## 組合を活用しよう

株式会社ニシキプリント

代表取締役 宮崎 真



この度 広島県印刷工業組合の副理事長を仰せつかりましたニシキプリントの宮崎です。若輩者ですがどうぞよろしくお願いいたします。

まずは簡単に自己紹介から。昭和46年生まれで今年53歳、生まれて間もなく広島に越して来たので純粋な広島県人だと自負しています。高校まで広島で、大学時代は福岡県で過ごし、バイトで資金を貯めては九州の名所を巡っていました。城跡や歴史的建造物を巡る旅は、今も続いている趣味です。大学卒業後は弊社の東広島工場へ入社し、営業を中心に製本や印刷など社内ですべての勉強をさせてもらいました。入社した平成6年ごろからDTPが広がりはじめ、弊社でも従来のアナログ工程からデジタル工程へ目まぐるしく変化していったのを今でも覚えています。創業者の伯父やその後を継いだ父が若くして亡くなったため、3代目の代表として現在に至っています。

弊社は、創業間もないころより障害者雇用に取り組んでいました。これは今のようなCSR的な考えによるものではなく、純粋に労働力の確保が狙いでした。当時は障害者雇用と言えば身体障害者の雇用に限られていました（法律も「身体障害者雇用促進法」）が、その後国の制度が変わり、現在の障害者雇用促進法のもとでは知的障害者や精神障害者も含めた障害者の雇用を指すようになってきました。それらを踏まえ、平成24年に別法人で福祉事業をスタートしました。障害者雇用のあり方は国の方針で決まりますが、その方針の中で障害者が弊社の戦力となってもらえるよう、長く障害者雇用を実践してきたノウハウを活かしグループとして成長していく戦略に大きく舵を切っています。

また、コロナ禍での事業再構築補助金を活用して、令和5年にはニシキプリントでも福祉事業を始めました。この事業では、内職やパソコン作業、またゲーム機プリンターを使用した障害者の就労訓練を行っています。

そんな私が、縁あって2年前に全日本印刷工業組合

連合会のCSR推進委員会に出向をさせていただきました。CSR推進委員会は、メディアユニバーサルデザイン(MUD)の普及を図るとともに、社会的にも認知されてきたCSRの概念を印刷業界に即したかたちに落とし込みCSR認定制度の普及を促進する委員会でした(現在はサステナビリティ・CSR委員会)。この委員会での取り組みを通じて、弊社でもCSRの考えを企業経営の柱に据え、2年間社員を巻き込んで勉強していきました。現在はツースターの認定を受けていますが、認定以上に社業と地域社会とのバランス、なによりも社内における理念の相互理解の促進に役立っています。

また、社員にはDTP検定や印刷営業士といった資格を積極的に取得してもらっています。資格自体は本人に属するものなので、社員のモチベーションアップにもつながっているのではないかと感じています。ただ、印カレラーニングを1年間活用しましたが、これは私の進捗管理が疎かだったせいか目に見える成果が挙げられなかったことを正直に告白しておきます。

本年度全印工連の瀬田会長の基本方針は「価値競争から価値協創へ」です。従来の値段だけの不毛な争いではなく、自社にしかない本来の価値(対価として十分なもうけ)で市場を創造していくことだと思います。厳しい時代ではありますが、どの会社にも他社にはない価値が必ずあると思います、その価値を見つけるヒントが全印工連にはあります。前述のような社員教育はもちろん、自社の根底を探るCSR認定制度など、困りごとがあれば私はもちろん事務局にお気軽にお問い合わせください。

最後になりますが、自分が必要とする情報は、今も昔も向こうから勝手にやって来ることはありません。自社の課題は自社にしかわかりません、だからこそ、今の時代に合った組合活動に変化すべきだと考えていますし、同じように自社も変化しないといけない時代ではないでしょうか。

【新役員紹介】

# 中小企業は群れてこそ「価値協創」

株式会社原色美術印刷社

代表取締役 **田尾 直也**



広島県印刷工業組合の令和 6 - 7 年の副理事長を仰せつかりました田尾でございます。皆様宜しくお願致します。また、同時に「組織活性化委員会」の委員長も担当致します。

今年度の中本理事長の活動基本方針は「見えないヒントを読もう」です。これは先行き不透明な予測困難な時代ですが、ヒントはいたるところにあるので幅広い視野で未来を読もう！というものです。一組員である私もこの基本方針に「組織活性化委員会」としては前述の取組みとあわせて

- ①組合員の運営強化のための組合加入促進
- ②生命共済事業・各種共済制度の加入促進
- ③支部長会議の開催（活性化 / 情報の場の提供）
- ④広報事業 いんさつ広島の発行 / 夢メッセの開催
- ⑤組合員台帳調査の実施

などがあります。

変化が激しく厳しい時代だからこそ組合の仲間の各社の強みを活かし群れることで組合活動と各社さまの事業をより強固なものにしていきましょう。

共感し組合員の皆さんとともに先を「読める（仮説を立てる）」ように努力して参ります。

組合に加盟、参加するメリットが分からないという声を耳にします。この声を「組合員でよかった。」にしていくことが組合役員および組織活性化委員長の使命

ととらえ、「全日本印刷工業組合連合会」の取組みや組合ならではの強み、メリットをお届け出来るよう微力ながら活動して参ります。

その為にも組合員の皆様にもお願いがあります。

まずは皆さまが所属する「支部会」への参加・情報収集をして頂きたい。時代は激しく変化していますがやはり基本は「人との繋がり」です。待っている「ヒント」は得られないと私は思っています。

我々中小企業は 1 社では小さく、得られない情報を「組合」を活用してみんなで群れて業界の課題である「受注」姿勢（待ちの姿勢）から脱却し「価格競争から価値協創」へと変態していく強い意志と業態変革を推し進める全員工連の各種プログラムがあります。これを是非活用していただきたい想いです。

「そんな良いものがあったのか、知らなかった！」ということが無いように情報を獲りに来ていただき、「情報」を知ったうえで 自社はそのプログラム・メニューを「する・しない」を選択していただくことが理想の姿です。



**UT UCHIDA TECHNO**

オートフィード  
プラテンダイカッター  
**AeroDieCut**

デジタル技術で  
従来の木型を  
活用します。

株式会社 **ウチダテクノ**

〒540-8520 大阪市中央区和泉町 2-2-2 ☎06(6920)2460  
〒812-0008 福岡市博多区東光 2-10-11 ☎092(476)5011  
ホームページアドレス [www.utecs.co.jp](http://www.utecs.co.jp)



世界に広がる **kingyo** のネットワーク

○営業拠点  
■製造拠点  
▲研究所

**ゴムロール・ゴムブランケット**  
ゴムのことならおまかせ下さい!

株式会社 **金陽社** 広島営業所

☎725-0002 広島県竹原市西野町1561-1  
☎0846-29-1011 FAX0846-29-1229

## 【新役員紹介】

## 企業の未来に向けて

株式会社広瀬印刷

代表取締役 瀬尾 淳



この度、広島県印刷工業組合にて常任理事を拝命致しました広瀬印刷の瀬尾でございます。変化の激しい時代に業界人の端くれとしてどこまでお役に立てるのか未知数ではございますが、微力ながら取り組んでまいります。

我々を取り巻く環境はデジタル化の波によって厳しい環境が続いていますが、同一の産業が長く栄えている例はほとんどありません。広島の地は現在、自動車を中心とする機械産業が経済の中心となっていますが、時代を遡ると、全く別の製鉄産業にたどり着きます。この歴史を鑑みれば印刷産業もこれまでの概念を覆すくらい積極的に変革していかないとならない時であると感じております。そのためには普遍的なことではございますが、①現状把握と問題解決、②未来に向けた人材育成、③最新技術の活用、といったことを、組合を活用しながら繰り返し実践すべきではないかと考えております。

まず現状把握と問題解決について、最近では印刷を取りまく関連産業の廃業を耳にすることが多くなりました。業界が縮小しているから仕方がないという見方もありますが、それ以上に、高齢化により加工技術が失われ、これまで難なくできていたことができなくなってきたように感じるものが増えてきていないでしょうか。地域需要が未だ旺盛な大都市圏が持つ技術力と地域の技術力は確実に開きつつあります。そこで各々の課題を組合の中で地域の課題として取り上げ、他地域と情報交換をすることにより、ネットワークの力で地域技術を取り戻せるチャンスが巡ってくるかもしれません。印刷産業は他業界よりも納期短縮を磨いてきた成果もあり、まだまだ地域商圏の強い産業でもあります。他地域も商圏を脅かされるという意識が他業界より少なく、また産業全体としての危機意識を共有しているために、活発な情報交換が実施されています。組合活動が自企業にもたらすメリットは企業の問題解決という切り口でもまだまだ十分に余地があると感じております。

次に人材育成という点において、企業の多様化を要求されている社会の中で、大企業は変わらず同じこと

をしているように感じますが、ほとんどの中小企業より変革の波にさらわれています。大企業に所属する人材のほとんどは何らかの形で組織再編、ジョブローテーション、担当替え、出向を繰り返しており、変化に耐えうる人財となり、新しい未来に向けた切り込み隊として活躍しています。中小企業だと中々そのような思い切った人事活動をするためのノウハウを構築することができません。組合活動を通して中小企業でも可能な変化の強い人材育成手法を模索する必要あると感じております。変化に強い人材なんて特にいらないと考えている企業もあるかもしれません。しかし最近では労働基準法の改正、インボイス制度、電帳法などで総務経理の環境が大きく変わりました。負荷を軽減するために多くの商材が飛び交っていますが、ほとんどの商材が導入で事は足りず人材育成がセットになっています。アナログな事務のデジタル人材化・・・考えるだけでも頭の痛くなる問題かもしれませんが、事務専門職の人手不足は全国的なものになっています。組合活動を通して変化に強い人材育成手法を模索していくことは自企業へのメリットになると感じております。

現在はAIの発達により多くの情報を集めるだけで、細かな分析という工程を経ずに結論を導きやすい環境が整いつつあります。ただAI分野は発展が目覚ましいこともあり多岐に亘っており、単独の企業では情報を収集しきれない状況にあります。全印工連では業界のAI活用に向けたセミナーの発信を続けており、今後の情報発信に目が離せないところです。またDXの分野ではプロダクションによる生産性向上、収益改善、経営資源の効率化を狙って全印工連の「DX-PLAT」を推進するなど企業独自では難しいことにチャレンジしています。組合員の皆様には是非とも最新技術に触れていただき事業活動にお役立て頂ければ幸いです。

数多くのマーケットが成熟したことにより需要や技術が細分化され、多様なニーズが生まれております。組合員の皆様と汗をかき、知恵を絞りこの難局を乗り越えて明るい「新産業」へと変化することを恐れず取り組んで参ります。

【新役員紹介】

# お客様からの仕事を断らないこと

中国新聞印刷株式会社

営業部部长 児玉 裕太郎



今年度より小山に代わり広島県印刷工業組合の理事を仰せつかりました児玉と申します。昨年 8 月から代理としてお手伝いをさせていただいておりましたが、改めましてよろしくお願い致します。

弊社は昭和 17 年に当時胡町にあった中国新聞社の社屋内に中国印刷株式会社として創立され、昭和 44 年に中国新聞社の土橋町への移転に合わせて弊社も移転しました。

昭和 53 年に西区商工センターに新工場が完成。新聞用オフセット輪転機を導入し、聖教新聞・公明新聞の受託印刷を開始、同時に商業用オフセット輪転機、枚葉オフセット印刷機等も導入しました。新聞印刷は平成 17 年に大野町の中国新聞広島工場内に新聞オフセット輪転機を 2 セット導入し、井口工場（商工センター）との 2 工場体制となりました。平成 23 年に大野の広島工場に新聞オフセット輪転機を 2 セット増設することで工場を大野に統合、同時に本社機能も大野へ移管し、営業部門は土橋の中国新聞社本社そばへ移りました。令和 3 年に中国新聞広島制作センターと統合し、中国新聞印刷株式会社に社名を変更し、中国新聞をはじめ新聞 8 紙を受託印刷して現在に至っています。

私は瀬戸大橋が全線開通する 1 年前の昭和 62 年に入社しました。ちょうど世の中がバブル期の真っただ中だった時だと思います。新卒で営業希望でしたが、最初の 1 年間は新聞印刷の現場（夜勤）での勤務が約束で入社しました。当時、新聞印刷は印刷部と発送部、受信室の 3 部署があり、発送部に配属になりました。勤務は土日祝祭日が関係ない 4 勤 1 休のローテーションで、最初の 3 勤が夜勤、4 日目が午後から日勤、翌日が休日、そしてまた 4 勤 1 休の繰り返しでした。その当時は 1 日に公明新聞、聖教新聞、日経 4 紙の計 6 新聞をそれぞれ決められた時間から毎日刷り上げ、各紙の販売所への到着時間が厳守であるため、印刷や発送機械等のトラブルで輪転機を止めることが許されない時間と闘う毎日でした。その印刷開始前に輪転機を稼働させる事前のブザー音を鳴り、巻取の紙が機械の中を立ち上がり、印刷する速度が次第に早くなって、

機械の稼働の音がだんだん大きくなっていく毎回の瞬間に、トラブルミスが許されない緊張度が増していく感覚を今でも覚えています。

そして 1 年後に営業部に移りました。当時の上司の方からアドバイスをいただいたことは「お客様からの仕事を断らないこと」でした。それからバブル期の中、印刷工程に入りきらない受注を抱えながら、朝から夜中までポケットベルと営業車両に装備していた連絡用無線を鳴らし応答しながら、毎日市内を走り回っていました。

中学、高校、大学と野球部（弱小校）に所属していたこともあり、会社の野球部に強制的に入部させられました。当時広島市の軟式野球連盟に加盟していた野球部は活動が活発で、休日の日曜日のたびに連盟の試合がありました。当然ですが、毎年 5 月の大型連休後の週末に 2 週にわたり可部の太田川河川敷で開催される県工組の優勝野球大会は、野球部にとって最も重要な大会で、当時は金陽社さん、広島中央印刷さんの 2 強が大会を引っばっておられ、参加チームも結構多かったのを記憶しています。

現在は営業事務所のある土橋を拠点として活動しています。

コロナ禍を経てお客様が従来の紙を使用した印刷からペーパーレスを選択されるなど、印刷業界にとってはとても厳しい大変な時代に直面しております。そんな中、所属する営業部は紙にこだわり、「折り鶴再生紙」を使用した印刷雑貨（御朱印帳や絵はがき、メモ帳、しおり等）と、印刷をしていない新聞用紙を生活雑貨として様々な用途を提案し商品化した「ニーズペーパー」を、弊社 HP や販売協力いただいている平和公園レストハウス、平和原爆資料館、中国新聞販売所等で販売しております。

最後になりましたが、微力ながら広島県印刷工業組合の運営と業界の発展に貢献できるように努めてまいりたいと思います。これからも引き続き、皆さま方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 【新役員紹介】

## 印刷物は、身近に必要とされている存在

瀬戸内海印刷株式会社

取締役総務部長 上重 十郎



この度、5月の総会におきまして、理事を仰せつかりました瀬戸内海印刷株式会社の上重（うえしげ）と申します。前任の大田が5月に70歳定年という事で後任となり、7月10日の「拡大理事会」から出席させて頂いております。委員会に「サステナビリティ・CSR委員会」の担当に選任されました。初めての出席でしたが、CSR認定企業という事で、話へ入る事が出来ました。まずは、どんな活動が有るかを知り、自社が現状、既に行っている活動の確認とこれから取り組む活動を検討する事からです。それらを見える化し目標を持つ事のきっかけにもなります。みんな、何も活動をしていないとは思っていませんが、事業継続において一つの大事な支柱となるはずで、認定企業を増やす事は、会社や業界にとっても社会への信頼を獲得する事になり、そういった会社が増えれば、業界も良い方向へ進むのではないのでしょうか。

単独で悩み苦しむ事なく、定期的に意見交換や情報共有する場で有り続け、柔軟な対応と効率よく良品をお客様へ提供出来る環境の構築がみなさんに出来る場になればと思います。

難しい話は苦手なので、いつも思っている事について話します。印刷物は、どの会社でも必ず存在する物という事を基本にしています。営業へ廻って訪問先から「何も無い、関係無い、何しに来たの」という事は無く、身近に必要とされて存在する物が必ずあります。それらに私達の誰かが携わっていると思うと、とても素晴らしい仕事ではないのでしょうか。それらを目の触

れる所へ送り出し、掲示されたり商品として陳列されたりすると、上手く表現出来、受け入れられているかと我が子を送り出したような感覚になります。1つ1つに心を込めてワクワクする気持ちを持ち続けながら、毎日の仕事に努めています。現在は、約2年前に営業から総務へ異動になりましたので、みんなが安心安全に仕事の出来る環境づくりに努めています。常に変化し続ける今、お客様のあらゆるご要望に対応出来る会社は、そこで働く従業員の要望に最適に対応する必要があります。安心して仕事の出来る環境づくりがものづくりの原点と考えています。

この辺りで自己紹介を致します。昭和51年生まれの48歳になります。小学生の頃から地元の小さな神社で地域の伝統芸能である神楽を舞っていました。大学へも一芸一能で推薦入学致しました。現在は、神楽保存会役員となり、地域伝統芸能継承者として指導者の立場で微力ながら地域活動の活性化に努めています。趣味は特に無いのですが、動物が好きなので独身時代は、色んなものを飼ったり、庭へ放して繁殖させたりしていました。現在は家族に苦手な者がいるので、自分の部屋に2匹のドジョウを飼っているだけですが、それがささやかな癒しになっています。

最後になりますが、夢メッセや互例会へは、何年も前から出席しておりますので、ご挨拶をさせて頂いた方や、交流のある方もいらっしゃると思いますが、いきなりの大役でご迷惑を掛ける事があると思います。何も分からない1年生ですので、これからも宜しく願い致します。

環境に優しく、  
安全・安心をカタチに。

一般印刷・グラビア印刷・パッケージ印刷・企画制作  
**瀬戸内海印刷株式会社**  
〒731-5109 広島市佐伯区石内北5丁目1-8 TEL:082-554-5500

SETOIN



## 金正印刷株式会社

〒732-0814

広島市南区段原南1丁目27-7

TEL(082)253-3301

FAX(082)252-0636

E-mail:kinsei@ninus.ocn.ne.jp

《福山支部だより》

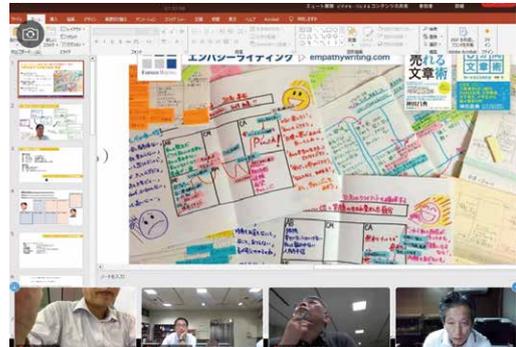
### 福山支部 9月例会

2024年9月18日(水)、福山支部価値組委員会の9月(第246回)例会。実は今回はオンラインを併用して開催しました。来月開催の印刷産業夢メッセ。福山支部価値組委員会としてもソリューションセミナーを1本受け持たせていただいています。「やりたくなる仕組みづくりー社内の信頼関係が増し、変革を実現させるー」。講師を鳥取の総合印刷出版(株)田村仁美社長にお願いしています。夢メッセの前月である今回の例会は、そのプレセミナー。言い換えるとリハーサル例会です。講師の田村さんが鳥取市にいらっしゃるといふ事もあり、オンライン(zoom)も使って開催でした。



7月例会では田村さんに福山までお越しただいて講演いただいたのですが、夢メッセでは内容を進化させて「いかに伝わるようにコミュニケーションを取るか?」の伝わる文章力向上のお話をさせていただく予定です。プレセミナー(リハーサルともいいます)では、当日の進行や流れも確認しつつ自分たちの実の事例を基にワークショップをやり、受講した私たちは事前に体験させてもらいました。これは面白い!このワークショップは自社ですぐに活用できる!のではなからうか。あっという間に時間が経っていた。夢メッセ当日、受講していただいた方にも納得・満足してもらえと思っています。

何を受講しようか迷っておられる方は2日目19日(土)、2時限目です。福山支部価値組のコマをオススメします。



### 事務局だより

◎ 組合のうごき

9月	27日	全印工連フォーラム 各委員会開催	大阪
10月	2日	常任理事会・夢メッセ三役会 ・拡大理事会	印刷会館
	18日	夢メッセ開催(1日目)	広島 ガーデンパレス
	19日	夢メッセ開催(2日目)	

### 永年勤続従業員の表彰募集

締切り 10月11日(金)

県工組では、組合員企業従業員の永年にわたっての精励をねぎらうとともに、勤続意欲の向上を図るため永年勤続の表彰を実施します。  
ご案内は1日に発送していますが、該当者については10月11日(金)までに、「被表彰者推薦書」を県工組へご提出ください。

## 竹末洋紙株式会社

良い紙に夢を加えて

洋紙一般・ファンシーペーパー・板紙・封筒  
アテナ製紙・イムラ封筒代理店

本社 〒733-0833 広島市西区商工センター6丁目5-9 TEL(082)277-4433・FAX(082)278-2070  
e-mail:takesue4433@urban.jp  
千代田倉庫 〒731-1531 広島県山県郡北広島町川井字岡田 TEL・FAX(0826)72-6626